

校長だより 令和2年9月2日

島根県立大東高等学校
校長 田根 衛

その18

～ 学園祭（織部祭）を終えて ～

【1】連日気温 35℃を超える暑さの中、コロナ感染と熱中症の両方の対策をしながら準備を進め、熱気あふれる3日間(8/27, 28, 29)の学園祭が無事終わりました。

文化祭では、3年生は準備段階からいろいろ工夫しながら下級生をよくまとめ、体育祭の衣装とデコの制作のほか、いつの間にかムービー編集やダンスの練習をしており、その成果をステージで発揮してくれました。

2年生の企画展示（パビリオン）はどのクラスも工夫を凝らし、不思議の国やUSJ？や夏祭りなどといった別世界へ私たちを連れて行ってくれました。入場制限をしながらの体験型企画展示は大成功でした。

1年生の合唱コンクールもパート練習が続き、前日のリハーサルと当日の合唱で見事、きれいなハーモニーに仕上げていました。

保護者の皆様には、無観客の文化祭にご理解をいただきありがとうございました。



8/27,28 大活躍の大型扇風機
(4台フル稼働でした)



8/26 気温も高くなり、時間制限20分限定の応援練習



8/26 文化祭ステージ完成です

【2】最終日の体育祭では、暑さ対策としてテントを近隣中学校から借りたり、レンタルでミスト扇風機5台を設置したりしました。しかし、グラウンドの気温はとても高く、急遽、午前1回、午後1回の30分間の教室休憩を設けて熱中症予防を図りました。

生徒会執行部を中心に各係員や出場選手たちの集合や招集の協力、また生徒たちの自己管理のお陰もあって、大きな怪我や事故もなく順調にプログラムが進みました。コロナ関連の制限も多く、連続猛暑日の熱い夏でしたが、思い出深い学園祭となりました。

学園祭テーマにある“咲かせよう希望の華”を大東高校生は成し遂げてくれたなあ、と改めて生徒たちの素直さ、逞しさを感じました。